

## 「第3次飯山市教育大綱」を策定 飯山市総合教育会議の報告

総合教育会議は、地方公共団体の首長と教育委員会が、地域の教育の課題や将来像を共有し、教育大綱の策定や重要施策などについて協議・調整する会議体で、飯山市では令和7（2025）年度に計3回の会議を開催しました。同会議では主に、令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までの本市における教育・学術・文化・スポーツの振興方針や目標を示す「第3次飯山市教育大綱」の策

定に向けて検討。大綱案の作成にあたっては、9月（第1回）と1月（第2回）の会議での議論に加え、子どもの意見反映のため全小中学校の小学5年生から中学3年生を対象とした意識調査アンケートを実施しました。さらに、2月から3月にかけて大綱案のパブリックコメントを実施し、広く市民の皆さんの意見を募集しました。これらの経過を踏まえ、3月27日の第3回会議において内容の最終確認を行い、「第3次飯山市教育大綱」を正式に策定しました。

新たな大綱は「夢に向かい自分の人生を舵取りし、社会の中で多様な他者と共に生きていく人」を基本理念に掲げ、6つの柱に沿って総合的な施策を推進します。市が賛同する「子どもまんなか」の理念のもと、市民全体で持続可能な未来の飯山を支える人づくりに取り組みます。

なお、同会議では「飯山の新たな小学校づくり計画」に示されている「城南中学校区の小学校統合（令和12年（2030年）頃を目途に統合）」についても協議が行われました。城北小学校の統合後の効果検証、他地域の特色ある教育、適正規模の学術的研究の状況などを提示したうえで、今後も市民の皆さんの意見を伺いながら慎重に計画を進めていくことが確認されました。

### 「第3次飯山市教育大綱」概要 (基本理念と6つの柱)

#### ■基本理念

夢に向かい自分の人生を舵取りし、社会の中で多様な他者と共に生きていく人

#### 【基本理念実現に向けた6つの柱】

- ①ふるさと「いいやま」を愛し、未来の「いいやま」を担う「人」を育む教育の実践
- ②自己教育力の伸長により、自らの人生を舵取りできる力を育む教育の実践
- ③将来なりたい自分に必要な資質を磨く、質の高い教育の実践
- ④持続可能な社会づくりに向け、自らの能力を磨く教育の実践
- ⑤共生社会の実現に向け、多様性を尊重し協働する心を育む教育の実践
- ⑥豊かな人生やより良い社会づくりに向け、地域の人々がゆるやかにつながる生涯学習や生涯スポーツ・文化活動の実践



「第3次飯山市教育大綱」は上記2次元コードからご覧いただけます。（飯山市ホームページ）

## すべての子育て家庭の多様なライフスタイルを支援 「こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）」

「こども誰でも通園制度」は、すべての子育て家庭に、多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を強化するため国が創設した新たな通園制度で、飯山市でも次のとおり利用いただけます。

- 対象となるお子さん  
利用日時点において、以下のすべてに当てはまる方。  
・0歳6カ月以上満3歳未満（生後6カ月から3歳の誕生日の前々日）までであること。  
・認可保育所、幼稚園、認定
- 利用時間  
午前8時30分～午前11時30分  
※土・日・祝日、お盆、年末年始は利用不可。また、施設の行事等により受け入れできない日があります。
- 利用料  
1人1時間あたり300円

## 未来のオリンピック選手にご声援を！ 第34回 飯山市サマージャンプ大会

飯山市サマージャンプ大会を6月27日(土)、28日(日)の2日間、市営飯山ジャンツェで開催します。全国各地から選手が集まります。多くの市民の皆さんの応援をお願いいたします。



- 開催日時  
・オフィシャルトレーニング：6月27日(土) 午前9時～  
・競技：6月28日(日) 午前8時30分～
- 会場 市営飯山ジャンツェ
- お問い合わせ スポーツ推進課  
Tel. 0269-67-0746

## 2026 飯山市男女共同参画講演会

2024年のNHK連続テレビ小説「虎に翼」の脚本をはじめ、数多くのヒット作を手掛けている脚本家・小説家の吉田恵里香さんをお招きし、男女共同参画講演会を行います。（来場には事前申込が必要です）

- ・テーマ 一人ひとりの「はて？」から始まる～今と未来の私たちの物語～
- ・開催日時 7月11日(土) 午後2時～午後3時30分
- ・会場 飯山市公民館2階 講堂（定員100名）
- ・申込み 事前に人権政策課までお申し込みください（Tel. 0269-67-0743）



飯山市の「こども誰でも通園制度」について詳しくは、上記2次元コードからご覧いただけます。

- 実施場所  
・飯山市子ども館きらら  
・市内公立保育園
- 利用方法  
制度を利用するには事前の手続きが必要です。手続きの方法については、ホームページをご確認いただくか、左記までお問い合わせください。
- お問い合わせ  
子ども育成課 子育て支援係  
Tel. 0269-67-0741

## 一般の部が2年連続入賞、小学生の部が10位 長野県市町村対抗駅伝の結果

4月25日に松本市のやまびこドーム周辺を会場に開催された「第35回長野県市町村対抗駅伝競走大会」および「第21回長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会」に、飯山市代表チーム（一般の部 堀田学監督、小学生の部 藤木勇紀監督）が出場しました。



飯山市チームの皆さん

一般の部は49チームが出場、9区間39・385kmで争われ、飯山市は2年連続入賞となる8位でフィニッシュ。中でも4区を走った田中秀磨選手（明治大学）が区間新記録での2位と活躍を見せました。

### 出場した選手の皆さん（敬称略）

一般の部出場選手		小学生の部出場選手	
8区 鷲野 彪雅	9区 佐藤 聖也	1区 高野 絵音	2区 山本 連
1区 川久保 莉美	2区 富井 陽友	3区 中川 実里	4区 村山 圭弥
3区 篠原 真仁	4区 田中 秀磨		
5区 佐藤 健人	6区 齊藤 里莉奈		
7区 岡村 榛馬			

また、62チームが出場した小学生の部は4区間4・8kmで争われ、4年連続の入賞とはなりませんでしたが、上位と僅差の10位と健闘しました。

堂々の入賞を果たした一般の部の堀田監督は、「手に汗握る展開の中、選手たちがチームのために全力を尽くしてくれた。チーム編成、サポート含めオール飯山で勝ち取った入賞だった」と話しました。

## 人権学習シリーズ

### 子育てを通じて学んだ他者理解

#### 市内在住の子育てパパ（匿名）

「子育て」は「親育て」と言われます。親が子どもを育てる過程を通じて、親自身も人間として成長するということがあります。私も今まさに、保育園と小学校に通う子どもの父親として、子育てから多くのことを学んでいます。その中で特に大切だと感じているのが、「その人を理解するにはその人の目線に合わせて考えることが必要」ということです。

子どもは兄弟であっても性格や興味、感じ方が異なり、同じように接しても思った通りにはなりません。宿題にしても、学校から帰って最初に終わらせる子もいれば、すぐに遊び始める子もいる。以前は最初に宿題を終わらせるべきだと考え、何度言っても宿題をやらなないことに対してイライラすることもありました。しかし、一人ひとりと目線を合わせて関わるようにしてからは、ゴールまでの道のりは人それぞれ違って良いと考えるようになった。

これは社会における人間関係においても同じだと思います。現在、働く上でも育児に関する制度が整備されてきていますが、大切なのは制度の中身だけでなく、地域や職場など周囲の理解だと感じます。制度を利用する人にとって魅力的な制度でも、周囲の理解がなければ結局は利用しづらくなってしまいうこともあります。自分が制度を利用する側であれば、周囲の人にも理解してほしいと願うのと同じように、一人ひとりが立場を変えてその人の目線で考えることが大切ではないでしょうか。